2017年度事業報告

公益財団法人 第6期

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

- 事業報告
- 評議員会、理事会、事務局等

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

1. 産学官連携推進事業

埼玉県や本庄市など自治体、早稲田大学等県内外の大学、地域産業、市民と協働し、埼玉県北を中心とした北関東地域の研究拠点を目指す。先進的なまちづくり「本庄モデル」を構築するため、早稲田大学を中心とした大学、研究機関の知を地域産業界と繋げ、産学官連携による共同研究、プロジェクトを展開した。

(1) 本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの活動について

1) 視察:海外展開支援事業

ベトナム人材活用調査研修ツアー (ハノイ訪問プログラム)

期 間:11月14日(火)~11月17日(金)

訪問国:ベトナム社会主義共和国 ハノイ市周辺

参加者: [埼玉県] 4 社… ㈱エイブルフソー (1 名)、㈱高脇基礎工事 (2 名)、

ワックデータサービス㈱(2名)、日本自動機工㈱(1名)

[静岡県] 1 社 … ㈱エッチ・ケー・エス (2 名)

(計5社8名)

訪問先:ベトナム政府計画投資省

VCI 人材戦略研究所・ハノイ日本アカデミー

地元企業等5社 ベトナム機械研究所

LONG THANH 精密機械会社 タンロン工業団地第 2 ハノイ工科大学

ベトナム JETRO

その他市内関連施設

成果概要:ツアー参加企業の1社が2名を採用することとなった。

また、参加企業2社が人材の採用を検討し、VCI人材戦略研究所と面談。

2)公的資金活用支援

①各種補助金申請:採択件数7件

【採択】

【申請者】当財団 3件

• 中小企業庁 農商工連携促進事業補助金

当財団の持つネットワークを活かして、IT 化・自動化など、農業者だけでは解決しづらい課題解決に向けた農業界と経済界のマッチングを地域レベルで推進する。

[マッチング件数]28件(うち成立11件、協議中8件)

[事業費]1,008,921円

・経済産業省 地域中核企業創出・支援事業 (ハンズオン型)

[中核企業] ㈱カネマス

「参画企業」山之内縫製

新たな福祉施設ニーズの発掘やプロジェクトの創出、評価実施 連携ネットワークを構築し、ネットワーク企業群の高齢者福祉施 設事業への新たな参入を促進・支援する。





[事業費]3,612,024円

[成果概要]当財団による高齢者福祉施設とのマッチングから生まれた「車いす用レインウェア」の事業化までを支援し、50 着(15 万円)が初めて販売された。また、介護専門展示会 Caretex2018 では、関連企業 80 社と接点を持つことができた。次年度では更なる販路拡大及び新たな商品開発に向けて支援を行う。

・経済産業省 地域中核企業創出・支援事業 (ハンズオン型)

[中核企業] ㈱ウェーブ

[参画企業] バッテリーバンクシステムズ㈱、㈱名取製作所、㈱志村金属、大野建設㈱、Indochina International Infrastructure Group.

リユース蓄電池を備えた蓄電機能付き低コスト低環境負荷のEV 充電システムを事業化する支援である。㈱ウェーブの電力事業の実績と、支援機関等が持つ環境ビジネス・技術の知見を用い製品の国内外への普及を行う。

[実施内容] 早稲田大学小野田教授や外部専門家によるリユース蓄電池の技術評価および事業性を検討した。また、蓄電池と太陽光パネルからなる EV 充電器のシステム化について仕様をまとめた。事業性評価にあたり、国内では関連技術を持つ中小企業および大規模電池ユーザー等へのヒアリングを実施した。海外では、ベトナム市場を対象に、現地コンサルタントの基礎調査に加え、国家交通省などの政策決定機関やハノイ工科大学等の研究機関、蓄電池ユーザーである大手通信キャリア VNPT 社等を訪問する現地調査(第一回1月、第二回3月)を実施した。この結果、リユース蓄電池は国内外で多様な需要が認められ、高い事業性があることが判明したので、2018 年度は㈱早稲田環境研究所が管理機関となり継続案件として申請することで産学官の支援体制の下、事業化を進める計画である。[事業費]6,184,923 円

【申請支援・調査・助言等】4件

·環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域循環圈)

[申請者]長野県中野市

[申請支援・助言]㈱早稲田環境研究所

「評価検討委員」当財団 (交通費等実費)

未利用資源のエネルギー利用を進め、地域循環圏の形成を通して、地域経済の活性化および創工ネ(熱電併給)によるCO2排出量削減に取り組む。

環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

(地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業)

[申請者]神川町

[委託先]㈱早稲田環境研究所、当財団

[調査支援・助言] 当財団 [受託費]324,000 円

2030 年度の CO2 排出量を政府の目標と比べて遜色ない 40%削減 (2013 年度比) を目標とする改定を行う。

· 環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

(物流分野における CO2 削減対策促進事業「船舶における低炭素機器導入」)

[申請者] 二光商運㈱

「申請支援・助言」㈱早稲田環境研究所、当財団 「受託費]108,000円

高効率・低燃費ディーゼルエンジンの導入を行い、省エネルギー化および物流分野の二酸化炭素排出抑制対策を実施する。

・埼玉県 埼玉県地域ものつくりブランド力強化支援事業補助金

[申請者] お茶っこサロン一煎

[協力企業] ㈱HOSOYA パウダーエンジニアリング、㈱ランタ、㈱ハンダ

[申請支援・進捗管理・助言] 当財団

埼玉県を代表する地域資源である「狭山茶」を使用した「さいたま狭山抹茶まるごとドレッシング」の製品加工から包装までの工程の確立とブランド化を目指す。

【不採択】4件

・国土交通省 サスティナブル建築物等先導事業(省 CO2 先導) (ケイアイスター不動産㈱、㈱早稲田環境研究所、当財団)

·経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業

(㈱名取製作所、(国研)産業技術総合研究所、当財団)

・東京都 東京都障害者スポーツ研究開発推進事業

(㈱名取製作所、(国研)産業技術総合研究所、(大)香川大学、当財団)

・経済産業省 地域中核企業創出・支援事業 (ハンズオン型)

(入間ガス㈱、お茶っこサロン一煎、的場園、(学)早稲田大学、当財団)

②中小企業・小規模事業者向け補助金活用セミナーの開催

関係機関と連携・協力し、中小企業及び小規模事業者向けのセミナーを2回開催した。

日時:4月5日(水)14:00~16:15

場所:熊谷市立商工会館 3階 3号室

内容:「平成29年度経済産業省関連予算案について」経済産業省関東経済産業局

「平成29年度埼玉県補助金等の支援策について」県産業労働部先端産業課

「審査員から見た申請書作成のポイント」 (公財)埼玉県産業振興公社

参加者数:59名

共催: 当財団、ものつくり熊谷

協力:経済産業省関東経済産業局、埼玉県産業労働部先端産業課、

(公財) 埼玉県産業振興公社





日時:2月20日(火)13:30~16:00

場所:早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

内容:「経済産業省による公募型競争的資金について」経済産業省関東経済産業局

「埼玉県基本計画(地域未来投資促進法)の概要と申請手続について」

埼玉県産業労働部企業立地課

「経営革新計画の取得について」 埼玉県北部地域振興センター本庄事務所

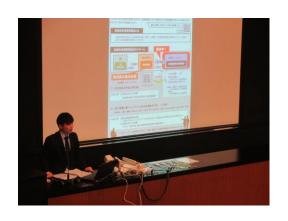
参加者数:42名

共催: 当財団、ものつくり熊谷

協力:経済産業省関東経済産業局、埼玉県産業労働部企業立地課、

埼玉県北部地域振興センター本庄事務所





3) 各研究部会の活動

◆次世代地域・モビリティ研究部会◆

①共同研究 *環境・エリアマネジメント研究部会と合同実施

【太陽光パネルリサイクルに関する研究】

将来の太陽光パネルの廃棄問題に対し、太陽光パネルを構成している各物質のリサイクル技術確立を目的とする。㈱エコ計画と早稲田大学の共同研究において、事業化を見据えた粉砕、選別、分析等の最適なリサイクル技術を見出す。

【㈱エコ計画寄居エコスペース施設見学】

日 時:8月25日(金)10:00~12:00

会場:㈱エコ計画寄居エコスペース(埼玉県大里郡寄居町)

出席者:早稲田大学創造理工学部環境資源工学科 大和田 秀二 教授、所 千晴 教授

学生3名、当財団

内 容: ㈱エコ計画寄居エコスペースにおける既存事業の施設見学及び共同研究内容について 意見交換を実施した。

【第1回 中間報告会】

日 時:10月25日(水)13:00~15:00

会 場:早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区)

出席者:㈱エコ計画 2名

早稲田大学創造理工学部環境資源工学科 大和田 秀二 教授、所 千晴 教授

学生3名、当財団

内 容:共同研究実施内容における進捗を共有した。太陽光パネルを佐藤鉄工㈱製クロスフローシュレッダーで粉砕し、粉砕粒度及びリサイクル品質を満たす粉砕条件について報告・検討を行った。

≪進捗状況と展開≫

太陽光パネルリサイクルの事業化において想定している佐藤鉄工㈱製クロスフローシュレッダーを用いて回転数、時間等の条件による検証を実施した。各種組合せの条件による組成金属類ごとの粉砕粒度や種類などの分析を行い、事業化に向けた選別手法等の検討を行う。

②プロジェクト *環境・エリアマネジメント研究部会と合同実施

【秩父市での自動運転小型モビリティの実証実験】

秩父市で、早稲田大学の自動運転技術と小型モビリティに関する地域実証実験を地域企業の 参画を得て行い、同市内で新たなモビリティ産業の創出を目指す。

≪進捗状況と展開≫

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 小野田 弘士 教授と秩父市産業観光部企業支援 センター職員と面談を実施した。また、2018年3月20日に小野田教授から秩父地域地場産業 振興センターの会員企業や工業組合等の秩父市内企業へ早稲田大学のシーズと構想について 説明した。

◆環境・エリアマネジメント研究部会◆

①共同研究 *次世代地域・モビリティ研究部会と合同実施

②プロジェクト

【秩父市での自動運転小型モビリティの実証実験】*次世代地域・モビリティ研究部会と合同実

≪進捗状況と展開≫

公的資金活用で挙げた採択案件をベースに、申請から実施、事業化までをワンストップで支援する取組みを行った。地域企業と大学・行政機関をつなぐ役割を財団が担うことで、産学官連携プロジェクトを円滑に実施することが期待されており、今後本庄プロジェクト推進室等と連携して地域産業の振興に貢献していく。

◆食と農研究部会◆

①研究部会セミナー

【農商工連携マッチングセミナー・商談会】*「農商工連携促進事業」の一環として開催

日 時:セミナー・パネルディスカッション 9月22日(金) 15:00~18:00

商談会 9月22日(金) 18:00~19:00

内 容:(1)セミナー

「オーガニック市場の展望と活用」フードトラスト㈱代表 徳江 倫明 氏 「農業 ICT の導入と活用」㈱元気もりもり山森農園 代表 山森 壮太 氏 (2) パネルディスカッション

パネリスト:徳江 倫明 氏、山森 壮太 氏、

埼玉県農林部農産物安全課 外島 洋志男 氏

モデレーター: 当財団 産学官連携コーディネーター 佐藤 徹

(3) 商談会

流通業者と農家のマッチングを実施した。

場 所:早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

受講者数:36名(農業生産者10名、食品加工業4名、行政(農業分野)5名、流通3名、ICT 関連2名、金融1名、福祉1名、支援機関等その他10名)

成果:①規格外の野菜をプレゼントする事を中心に農家と消費者を繋げるサイト「タダヤサイドットコム」を運営する㈱日本野菜と農家2件との契約が成立した。

② (旬)沃土会および(㈱ハナファームキッチンによる 6 次産業化事業に対する会員企業等とのマッチングを支援した。





②プロジェクト

テーマ:農業 ICT 化

【農工福連携による農業従事者の働き方リデザイン プロジェクト】

サイボウズ㈱が開発したクラウド型データベース Kintone を使用し、㈱ワビットの開発による環境計測システム UECS-Pi と連携させた生産支援システムを、障害者の就労を推進している埼玉福興㈱の業務改善に活用し、農業従事者の多様な働き方改革に向けての実証支援を行った。

3月にキックオフを実施。4月および6月にPCM手法(プロジェクト・サイクル・マネジメント)を用いたワークショップを開催。問題・目的分析を通じてPDM(プロジェクト・デザイン・マトリクス)を作成。作成された全体計画に沿って業務改善を実施した。

・第1回ワークショップ

日 時:4月20日(木)10:00~17:00

場 所:埼玉福興㈱(熊谷市)

内 容: PCM 手法を用いた問題分析・目的分析

参加者:7名(埼玉福興㈱、㈱元気もりもり山森農園、サイボウズ㈱、㈱Wabit、当財団

・第2回ワークショップ

日 時:6月16日(金) 10:00~17:00

場 所:サイボウズ(株)

内容:ログフレーム/PDM作成

参加者:7名(埼玉福興㈱、㈱元気もりもり山森農園、㈱れんこん三兄弟、サイボウズ㈱、 ㈱Wabit、当財団

≪進捗状況と展開≫

プロジェクトを通じ、精神障害を持つ農業従事者の活動において、クラウド型データベースを活用することによりチームワークが改善し、生産性が向上するなど顕著な成果がみられた。また派生的に発達障害者を対象とする企業向け研修が企画・検討されるなど、新たなビジネスモデルの策定に向けての進捗が見られた。

これらの成果は中小企業庁「平成 29 年度農商工連携促進事業」における優良事例の一つとして全国フォーラム (2 月 21 日開催) で報告された。また、サイボウズ社における公開セミナー(2 月 14 日開催「農業×ICT/IoT『100 農家いれば 100 通りの農業』」)でも報告され、日経 xTECH でもその内容の一部が取り上げられた。

テーマ:地域ブランド・地産地消推進

【Saitama-Resource プロジェクト】

県内企業による優れた加工食品等をコンセプトメイキングと併せてブランド化し、埼玉における新たな切り口の名産品として取りまとめ国内の展示会で展開するとともに、参加企業間のコラボレーションを仲介するなどの支援を行った。

(1)展示会出展

ウェルネスフードジャパン 2017 機能性カフェ (出展支援)

(2) ブランド化支援

参加企業:会員企業5社 (株T.M.L、お茶っこサロン一煎、三州製菓㈱、(株大慶堂、All My Tea

≪進捗状況と展開≫

(株) 大慶堂および関根桐材店によるコラボ商品が 2017 年度グッドデザイン賞 (「漢方の販売スタイル及びデザイン」) を授賞した。当財団はマッチングおよび展示会(ウェルネスフードジャパン 2017)出展を支援。また、三州製菓㈱とハーブティ専門店 All My Tea との連携を支援した。

◆くらしと健康研究部会◆

未設立であるが、次の活動を実施した。

【社会福祉法人ニーズと企業技術のマッチング】

中学・高校向け体操着やスポーツウェアの製造会社である㈱カネマス(羽生市)と高齢者福祉 施設の社会福祉法人城南会(さいたま市岩槻区)のニーズをもとに通気性が高く使い勝手の良い 「車いす用レインウェア」を開発した。

≪進捗状況と展開≫

2018年度は新たに社会福祉法人邑元会や社会福祉法人安誠福祉会において、「車いす用レインウェア」の現場評価を実施している。

2. 地域産業活性化支援事業

(1) 地域産業人材育成

1) 企業経営者・管理者研修

管理監督者を対象とした研修会を開催した。

日程	内容・講師	受講者数
7月6日(木)・7	新任管理監督者研修	01 57
日(金)	侑ミッション 代表取締役 田中 久男氏	31名

2) 中堅社員・専門研修

中堅社員及び実務担当者を対象とした研修会を開催した。(全5講座)

日程	内容・講師	受講者数	
7 H 9C □ (→k)	IS014001 内部監査員 2015 年版移行研修	9.4 Ø	
7月26日(水)	(公財)埼玉県産業振興公社 登録専門家 新井 登氏	24 名	
9月13日(水)	打合せの達人研修	99 Ø	
9月13日(水)	㈱スタジオ02 代表取締役 大関 暁夫 氏	22 名	
10月19日(木)	中堅女性社員キャリアアップ研修	99 Ø	
10月19日(水)	㈱キャラウィット 代表取締役 上岡 美弥子 氏	22 名	
11月15日(水)	品質管理入門研修	9.4 夕	
16 日(木)	職場活性化研究所 代表 渡辺 孝 氏	34 名	
2月7日(水)	新任管理監督者研修	24 名	
8日(木)	MR I 代表 牧野 健治 氏	24 泊	







3) 早稲田若手経営者ビジネススクールの開催

中小企業経営者・後継者や幹部候補者を対象に、講義・ディスカッションのほか、受講生が設定した経営課題を研究するビジネススクールを開催した。

① 無料講演会&ガイダンス ・参加者数 41 名

日程	内容	担当講師	
	塾長講話	早稲田大学 鵜飼 信一教授	
□ □ □ (→k)	講演「不況に負けないチャレンジ精神」	㈱浜野製作所	
5月31日(水)	早稲田若手経営者ビジネススクール	代表取締役 浜野 慶一 氏	
	ガイダンス	当財団 池田 泉	

②早稲田若手経営者ビジネススクール・受講者数9名(全7回講義)

日程	内容	担当講師
6月28日(水)	開講式・ガイダンス 講演「技術は手に宿る」	早稲田大学 鵜飼 信一教授 (株)ライフエンテ゛ィンク゛ステーション 代表取締役 工藤 元 氏
7月26日(水)	「イノベーション経営」	(株田代合金所 代表取締役 田邊 豊博 氏
9月27日(水)	企業見学 「中小企業の事業戦略」	(株マテリアル 代表取締役 細貝 淳一 氏
10月11日(水)	「リーダーシップとコミュニケーショ ン」	深中メッキ工業㈱ 代表取締役 深田 稔 氏
11月15日(水)	企業見学 「中小企業と事業継承」	日本電鍍工業㈱ 代表取締役 伊藤 麻美 氏
1月31日(水)	「経営戦略と新規事業開発」	ダイヤ精機㈱ 代表取締役 諏訪 貴子 氏
3月7日 (水)	修了式 研究発表会・修了証授与式	早稲田大学 鵜飼 信一教授 (株)ライフェンテ゛ィンク゛ステーション 代表取締役 工藤 元 氏







(2) 地域企業との連携

【食と農のフェスティバルの開催】

地産地消の拡大により地元の農業者、食品加工企業等関連事業者の振興を図るとともに、安心・安全な地元の食品に対する意識を啓発するため、「オーガニック・ふるさと認証食品プレミアムコーナー」など親子で楽しめる催しを集めたフェスティバルを開催した。

開催日:10月21日(土)10:00~15:00

会場:早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター

主 催: (公財) 本庄早稲田国際リサーチパーク 共 催: 本庄商工会議所、本庄商工会議所青年部

内容: (体験コーナー) ペットボトルピザ

(飲食コーナー) 窯焼きピザ、バーガー、かき氷等

(こども向けコーナー) おもちゃ作り教室、絵本読み聞かせ、フェイスペイント

(販売コーナー) 地元の食品、農産物

参加企業・団体数:35 団体 一般市民参加者数:約350名







(3) インキュベーション支援

地域経済の活性化や新規事業に伴う新たな雇用の創出を図るため、起業家やベンチャー企業の支援を行った。

(独)中小企業基盤整備機構、早稲田大学産学官研究推進センター・インキュベーション推進室、 (公財)埼玉県産業振興公社等の埼玉県関連機関、近隣の商工会議所・商工会、日本政策金融公庫や 埼玉信用保証協会等の金融機関との連携を強化し、販路開拓やマーケティングなどの支援を行った。

1) インキュベーション支援

①起業家支援

ベンチャー棟入居企業に対し、経営課題の相談や解決、公的支援の活用や国県の競争的資金への応募、営業先企業紹介やマッチング等の支援を行った。

ベンチャー棟入居企業8社、11部屋満室(会議室1部屋含む) (3月末現在)

企業名	業種	入居年	大学等連携先
前野技研工業㈱	電気化学式ガスセンサの開 発・製造販売	2010年	
賛光精機㈱	太陽光発電パネルの開発・ 製造販売	2011年	
ソフィオン バイ オサイエンス(株)	創薬研究向け研究機器の販 売・サポート	2012 年	Danish Technical Univ. (デンマーク) Cranfield Univ. (英国) Harvard Univ. (米国)
M i Mコンサル(株)	医療機関向け情報管理シス テムのコンサルティング	2014年	早稲田大学大学院 中里研究室 山梨大学
ETE(株)	冷凍冷却装置用省エネ機器 「Miラクルコイル」の開 発・製造販売	2015年	上智大学

アルジカルティベ イトエンジニアリ ング(株)	微細藻培養および有用物質 の開発・製造販売	2016年	東京大学大学院農学生命科学研 究科 神奈川大学(未来環境テクノロ ジー社)
㈱ランタ	技術資料(取説・パーツリスト) やグラフィック・デジタルコンテンツ等 の企画・デザイン・編集	2017年	
(公財)本庄早稲田 国際リサーチパーク	シェアオフィス「本庄早稲 田ビジネスプラットフォー ム」の運営	2012年	早稲田大学

②入居企業以外の支援

支援要請のあった下記企業に対して、課題解決に向けた継続的支援を実施した。

企業等	相談・支援内容	
	・本庄地域でのネットワーク構築の相談を受け、「本庄	
	早稲田オープンイノベーションネットワーク」への入会	
ONE STEP	支援	
	・創業に関する知識習得の相談を受け、「創業スクール」	
	の受講支援	
	・埼玉県が推進している「経営革新計画」への申請支援	
フーリー DEMETANI (会)サッカー ュ 亞書	・埼玉県の伝統工芸に指定されている絹織物「本庄絣」	
アトリエ DEMETAN (創業スクール受講	を素材として使用したバッグデザインコンテストを企	
生および BPF 会員)	画・開催にあたり財団の後援支援	
	・第4回全国創業スクール選手権にてブースの出展支援	
㈱スプラウト (BPF 卒業会員)	「長生きに備える資産形成」セミナーの実施支援	
KDDI プリシード㈱(BPF 会員)	社員採用面接における面接会場や案内看板仮設置を早稲	
MDI ノリン・下(My (DIT 云真)	田大学と調整支援	
制ビット・テック	北関東での産産連携の構築を目指し、児玉工業団地工業	
	会への紹介支援	
	「ビジネス交流会」の開催にあたりベンチャーブースへ	
㈱東和銀行	の出展企業の推薦依頼があり、アトリエ DEMETAN と㈱ラ	
	ンタを出展支援	
アトリエ・ヴェール (創業スクール受	・「食と農のフェスティバル 2017 in 本庄早稲田」への	
講生)	出店による販路開拓、マッチング等支援	
四件/	・第4回全国創業スクール選手権にてブースの出展支援	
タダヤサイドットコム(BPF 会員)	「農商工連携マッチングセミナー・商談会」への参加支	
ファイケイドクトーム (DIT 云真)	援	
こもれびエンジニアリング (創業ス	擬似窓試作品の改善にあたり、建築関係者との打合せ支	
クール受講生および BPF 会員)	援 (2件)	
櫻井様 (創業スクール受講生)	・第4回全国創業スクール選手権への出場支援	

	・第4回全国創業スクール選手権にてブースの出展支援	
㈱ワビット(BPF 会員)	鈴木弁護士による「無料法律相談会」への相談支援	
FP Fortune Laboratory	「補助金活用セミナー・個別相談会」への参加支援	
アロママッサージ・えんじゅ(創業ス	第4回全国創業スクール選手権にてブースの出展支援	
クール受講生)	カキロ王国乱未ハノ / B丁惟に () / ハツ山成又版	
すみれデザイン(創業スクール受講	第4回全国創業スクール選手権にてブースの出展支援	
生)	第4回王国創業ハグ ル医子惟に C / ハツ山成又版	
江田様(創業スクール受講生および	パソコン操作の講習支援	
BPF 会員)	ハノコン操作の神音又抜	
ブリッジ(BPF 卒業会員)	取引を開始する企業情報の取得支援	
M's Network System(同)、黒沢様		
(起業準備者)、㈱ワビット、㈱Office		
優 for YOU、㈱TrePrimo、データラ	本庄早稲田ビジネスプラットフォーム(BPF)新規入会に	
イブ、江田様(起業準備者)、FP	よる各種支援(2017年4月~2018年3月入会)	
Fortune Laboratory、関甲新学生野	よの付理又仮(2011 十4月~2010 十3月八云)	
球連盟、新井様 (起業準備者)、佐藤		
様 (起業準備者)		

2) 本庄早稲田ビジネスプラットフォームの運営

資金力のない起業家や創業準備者、プロジェクト段階でのスタートアップに対してインフラ提供や経営相談などを行い、情報共有やネットワーク形成を通じた新規創業や新規事業の創出を支援した。

会員数29者(3月末現在)

3) IOC 本庄早稲田入居者セミナー・交流会の開催

IOC 本庄早稲田入居企業ならびに本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員の経営知識の涵養、 事業展開を視野に入れたマッチングや提携等のきっかけとなるセミナーや交流会を開催し、地域企 業連携や地域関係機関とのネットワーク確立を支援した。

日程	内容	講師	参加者数
12月5日(火)	【第 11 回 IOC 入居者交流会】 ○セミナー「育児・介護休業法 改正~マタハラどころか法律 違反?!正しい育休・介護休制 度を学びましょう~」 ○交流会	ターナー法律事務所 所長弁護士 鈴木理 晶 氏	35 名
3月23日(金)	【第 12 回 IOC 入居者交流会】 ○交流会		18名

4) 創業スクール~ゼロから始める創業スクール~の開催

(平成29年度 経済産業省中小企業庁 潜在的創業者掘り起こし事業)

起業に関心はあるがハードルを感じている会社員、主婦、学生、定年退職者等を対象に、講義とビジネスプランの作成およびブラッシュアップを通して起業のハードルを下げ、起業・創業をより身近なものとするため創業スクールを開催した。

創業における課題の解決や修了生同士のつながりを継続するために結成したOB会を開催する ほか、修了生のイベント参加を支援した。

なお、本スクールは、本庄市及び上里町における創業支援事業計画の特定創業支援事業に位置付けられている。

① **創業スクール** ・受講者数 22 名 (全 5 回講義)

メイン講師 早稲田大学インキュベーション推進室 辰野 博一 氏

日程		担当講師(メイン講師以外)
口生	F 1/4	
	 ビジネスプランの作成準備	代表取締役 髙橋 栄治 氏
	創業のビジョンとビジネスモデ	アトリエ DEMETAN
6月24日(土)	ル	代表 内原 絵美 氏
	地域の創業者による体験談	Smile Design (すみれデザイン)
		代表 山路 晴巳 氏
	 マーケティングの基礎知識	ターナー法律事務所
7月1日(土)		弁護士 鈴木 理晶 氏
, , , , , , , , , , , , ,	法務の基礎知識	
	プレゼンテーション	本間税務会計事務所
7月15日(土)	税務・会計の基礎知識	税理士 本間 実 氏
	ビジネスプラン作成ワークショ	
	ップ	㈱日本政策金融公庫熊谷支店
7月29日(土)	資金調達と公的支援制度の活用	融資課長 古閑 潔 氏
	創業お役立ち情報	IOC 本庄早稲田 インキュベーションマネー
	地域の起業支援	ジャー 瀧島 誠
		㈱日本政策金融公庫熊谷支店
		支店長 飯塚 健治 氏
		本庄商工会議所
8月5日(土)	プレゼンテーション実践	事務局長 田中 一成 氏
		上里町商工会
		経営指導員 村上 洋美 氏
		当財団 池田 泉





②創業スクール OB 会

日程	内容	セミナー講師等
	○セミナー	本庄商工会議所
	・本庄商工会議所「創業支援と事	経営指導員 蓮沼 康永 氏
7月22日	業の紹介」	
(土)	・ 埼玉県北部地域振興センター本	埼玉県北部地域振興センター本庄事務所
	庄事務所「こんなことも?!知ら	草野 由美子 氏
	なかった!使いたくなる支援策」	
8月5日(土)	○創業スクールビジネスプラン発 表会	早稲田大学インキュベーション推進室 メイン講師 辰野 博一 氏

③イベント参加

販路開拓の機会提供のため、修了生から参加希望者を募り、下記イベントの出展を支援した。

- ・食と農のフェスティバル(10月21日)1名参加
- ・第4回創業スクール選手権「創業スクール 10選」ブース(2月23日)6名参加

④創業実績(3月末現在)

2015 年度: 受講者数 23 名 創業者数 7 名

バッグの製造・販売、印刷プロデュース、ドイツパン製造・販売、

マタニティペイント、アロママッサージ、疑似窓製造、ウェブデザイナー

※第2回全国創業スクール選手権「経済産業大臣賞」受賞、「創業スクール 10選」受賞

2016 年度: 受講者数 11 名 創業者数 2 名

グラフィックデザイナー、技術資料作成業務

※第3回全国創業スクール選手権 セミファイナリスト (16名) に選出

2017 年度: 受講者数 22 名 創業者数 1 名

キュレーションサイト運営

※第4回全国創業スクール選手権「創業スクール 10選」受賞

≪進捗状況と展開≫

・「本庄早稲田ビジネスプラットフォーム」は、4月以降に11者入会、8者退会の結果、入居者数が3月末時点で開設以来最も多い状況になった。退会者の内で3者が本庄市内に、1者が深谷市内に事務所を開設している。引き続き資金力のない起業家や創業準備者等のスタートアップ時の取り組みを力強く支援する。

・創業スクールは、8月5日を以て全講座修了。最終日は、参加者全員が各自のビジネスプランを発表した。その際、受講生参加者全員と審査員4名による審査での最高得点者を最優良ビジネスプランに選定し、第4回全国創業スクール選手権へ代表として選出した。今後も継続的に、講師や当財団に対する相談を随時受け付けるとともに、交流会の開催等を通じ、受講生に寄り添った支援を継続的に実施することにより、創業を実現する。なお、当財団の創業スクール「本庄早稲田塾〜ゼロから始める創業スクール〜」が、経済産業省中小企業庁平成29年度潜在的創業者掘り起こし事業での第4回全国創業スクール選手権で全国の認定創業スクールの中から、一昨年度に引き続き「創業スクール10選」として選定され、表彰された。

3. 地域連携支援事業

(1) 先進的まちづくり活動支援事業

「本庄早稲田の杜づくり」構想の推進に協力するとともに、川淵三郎塾等、先進的まちづくりに 取り組む地域関係者との連携を進め、地域の活性化に貢献した。

1) 本庄早稲田の杜づくり活動支援

本庄早稲田の杜のまちづくりについて研究と実践活動している「早稲田の杜まちづくり活動 勉強会」にメンバーとして参加するとともに、主催イベントの企画運営を支援した。

日程	内容	参加者等
8月27日(日)	流しそうめんフェスタ・ファイナル	240 名
	会場:JA 埼玉ひびきの本店駐車場及びホール	
10月21日(土)	仮装でまちみがき	雨天のため中止
11月1日(水)	早稲田の杜に花を植えよう	早稲田大学本庄高等学院
	会場:学生寮前植樹帯	学生等
11月19日(日)	まち勉未来会議 for mama 田邊晶子さん講演会	親子6組
	会場:JA 埼玉ひびきの本店ホール	
毎月1回	定例会議	
毎月第3土曜	まちみがき活動 : 早稲田の杜周辺のゴミ拾い、	
日	除草	
5月20日(土)、	男掘川河川維持活動:遊歩道の除草、木の枝伐	
7月15日(土)、	採	
9月16日(土)、		
11月18日(土)		

2) 地域環境を活かした新たなスポーツ施策の支援

・川淵三郎塾の活動支援

2009年4月に早稲田大学特命教授に就任した日本サッカー協会最高顧問川淵三郎氏を迎え、本庄市において市内のスポーツ団体や行政の関係者による川淵三郎塾実行委員会、幹事会を組織し、本庄市の掲げるスポーツ施策のスローガン「市民一人1スポーツ」を実現するため、川淵三郎塾を開校した。2012年度からは実行委員会形式から市主催に移行し事業展開を行った。当財団は早稲田大学とともに塾の事業運営に協力し、市民へのスポーツの普及やスポーツを通じた地域の活性化に貢献した。

【行きたくなる場所づくり】

事業内容:小学校校庭芝生化

日程	内容	場所
7月4日(火)	芝生の定植作業	児玉小学校校庭

【ウォーキング事業】

事業内容:いつでも、どこでも、誰でも気軽に取り組めるウォーキングの普及促進

日程	内容	場所	
3月17日(土)	春のウォーキング教室の開催	本庄総合公園周辺 参加者:26名	
3月24日(土)		本庄総合公園~大久保山コース (ウォー キングマップNo.2) 参加者:24名	

【効果的なイベント】

事業内容:少年期スポーツ指導者講習会

日程	内容	会場
2月15日(木)	新事実!座りすぎると寿命が縮む!?	早稲田リサーチパーク・コミュニ
	~座りっぱなしで過ごさないための	ケーションセンター
	指導方法~	参加者:49名
	講師:早稲田大学スポーツ科学学術院	
	教授 岡浩一朗氏	

(2) 地域の人材育成支援事業

早稲田大学、埼玉県、本庄市など関係機関と連携し、地域の子どもたちに対し環境教育、科学技術教育、多文化共生の理解増進のための講座・教室を開催し、本庄地域の未来を担う人材の育成に貢献した。なお、成人向けには医療講演会を開催した。

1) 本庄早稲田の杜こども科学実験教室の開催

地域の子どもたちの科学技術の理解の増進のため、早稲田大学大学院や早稲田大学本庄高等 学院と共催で科学実験教室を開催した。当財団は事務局として、関係者と調整を図り参加者の 募集、応募者多数のため抽選後全員へ通知、講師等との連絡・調整を行った。

日程	内容	参加者
7月28日(金)	夏休み親子スーパーサイエンス教室	83 組
	4 教室(午前・午後 2 教室)	
	主催:早稲田大学本庄高等学院 共催:当財団	
8月4日(金)	本庄ユニラブ 2017	148 名
	13 教室(午前7教室・午後6教室)	
	主催:早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科、早稲田大	
	学環境総合研究センター 共催:当財団	
12月26日(火)	冬休み親子スーパーサイエンス教室	71 組
	4 教室(午前・午後 2 教室)	
	主催:早稲田大学本庄高等学院 共催:当財団	





2) 小学校環境学習の開催

本庄市内の小学校の総合的な学習の時間を支援し、児童の環境教育の理解増進に貢献した。

日程	内容	対象
6月15日(木)	利根川について	本庄市立仁手小学校
	講師:利根川上流河川事務所(国土交通省)	5年生:14名
7月6日(木)	女掘川について	本庄市立本庄南小学校
	講師:川の博物館(埼玉県)	5年生:84名
11月16日(木)	環境問題(自転車発電)	本庄市立本庄東小学校 5
	講師:NP0早稲田環境教育推進機構	年生:124名
12月12日(火)	旭環境学習会(6班に分かれて、大気汚	本庄市立旭小学校
	染・地球温暖化・酸性雨・水質汚染、ごみ	5年生:57名
	問題・生態系の授業を実施)	
	講師:早稲田大学大学院環境・エネルギー	
	研究科、早稲田大学本庄高等学院、埼玉県、	
	本庄市、児玉郡市広域市町村圏組合	
12月13日(水)	環境問題(風力発電)	本庄市立共和小学校
	講師:NP0早稲田環境教育推進機構	5年生:27名
2月2日(金)	環境問題(自転車発電)	本庄市立北泉小学校
	講師: NPO 早稲田環境教育推進機構	5年生:52名
2月19日(月)	環境問題(自転車発電)	本庄市立本庄南小学校
	講師: NPO 早稲田環境教育推進機構	5年生:84名

3) 生涯学習活動支援

- ・子ども大学ほんじょう
- ・6月25日(日)入学式から10回の講義等に実行委員として企画・運営に参加

講義受講者児童:延べ638名

講義内容:地元企業見学・早稲田大学キャンパスツアー

- 大きな筆で、でっかい字を書こう
- ・うぐいす笛を作って、色々な音階を出してみよう・宇宙の不思議を学ぼう 等

4) 地域住民の医療や健康促進についての講演会等の開催

地域の医療と健康、福祉に関する講演会を市民大学として開催し、交流の場を提供することを 目的としたGHWの会と共催で地域医療講演会を開催している。

日程	内容	参加者
6月10日(土)	肝臓病についてー沈黙の臓器 肝臓ー	78 名
	講師:群馬大学医学部附属病院 消化器肝臓内科/肝疾患セン	
	ター部内講師 堀口昇男氏	
9月30日(土)	男性にも知ってほしい女性のがんについて	59 名
	~検診率向上のために~	
	講師:産科婦人科 舘出張 佐藤病院 経営企画室 室長 福田	
	小百合氏	
1月20日(土)	地球環境問題と生活・健康リスクの関係	48 名
	~気候変動・エネルギー問題を中心に~	
	講師:早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 納富	
	信氏	
3月10日(土)	乳がんの早期発見と最新治療	78 名
	講師:伊勢崎市民病院 外科・乳腺内分泌外科診療部長 片	
	山和久氏	

(3) 地域環境保全事業支援

里川の再生、里山環境保全活動を普及・推進するため、自然環境への理解を深める体験事業を支援する。今年度も埼玉県川の国応援団美化活動団体として、里川保全活動を推進した。

1) 本庄早稲田の杜「里山塾」2017の開催

早稲田大学本庄キャンパスのある大久保山は、市内でも最もまとまった雑木林が残された場所の一つです。里山の中で、動植物の観察だけでなく、里山の循環について学び、体験することにより、里山の持続可能な利用や人と自然との共生について学んだ。さらに大久保山の歴史にも触れ、時の流れを通じた人と自然の関わりについても考察した。

・当財団は事務局として、参加者の募集、開催ごとに参加者へ通知、講師等との連絡・調整を行った。登録者:55名

講師:大堀聰氏(早稲田大学基幹理工学部)、荒川正夫(当財団専務理事)



日程	内容	参加者
4月29日(土)	番外編 春の散策(公開講座)キンラン・ギンランの観察	42名
5月20日(土)	① 大久保山散策(オオタカ、シジュウカラ観察)	47名
6月6日(火)	里山ボランティア (畑の除草や畝づくり)	16名
6月17日(土)	② 循環型農業(サツマイモ植え付け)と散策	43名
7月1日(土)	③ エクスカーション(湯沢清水集落) 講師:大前純一氏(NPO	33名
	法人 ECOPLUS 理事)、清水集落の皆様	
8月9日(水)	里山ボランティア(サツマイモ畑の草刈り・蔓返し)	12名
9月9日(土)	④ 大久保山の歴史	35 名
10月14日(土)	⑤ 循環型農業(サツマイモ収穫)と散策	39名
11月18日(土)	⑥ エクスカーション (所沢キャンパス)	27名
12月5日(火)	里山ボランティア (落ち木拾い・下刈り)	15 名
12月16日(土)	⑦ 里山保全作業(落ち葉かき) (公開講座)	57名
1月20日(土)	⑧ 散策と1年間の活動の振り返り	34名

2) 河川調査体験学習会の開催及び河川保全活動支援

・本庄市立藤田小学校 5、6 年生(総合の学習の時間テーマ: 環境) と早稲田大学本庄高等学院(河川研究班) との協働河川調査・年2回・小山川、元小山川

当財団は事前授業の講師及び関係者のコーディネートを担当

参加者数:5年生29名、6年生16名・先生、学生、講師、スタッフ等約30名

協力:埼玉県(本庄県土整備事務所、環境科学国際センター)、本庄市、

NPO 法人川・まち・人プロデューサーズ

日程	内容	参加者
5月31日(水)	河川調査事前授業	-
6月7日(水)	河川調査	-
6月14日(水)	河川調査事後授業	-
11月8日(水)	河川調査	_
3月10日(土)	川のシンポジウム 2018~本庄の川を取り巻く環境について~	76 名
	主催:早稲田大学本庄高等学院、本庄市立藤田小学校 協力:	
	当財団 後援:埼玉県本庄県土整備事務所、本庄市、本庄市	
	教育委員会	



・男掘川周辺企業と財団の共催による男堀川の生物調査

日程	内容	参加者等
10月7日(土)	里川保全活動「川の生きものみっけ隊」	30 名(地域住民
	男堀川(本庄早稲田駅周辺、埼玉ひびきの農業	親子など)
	協同組合本店前)の生物調査・清掃活動	スタッフ:33名
	主催:当財団 共催:㈱カインズ、JA埼玉ひびきの、	
	賛光精機㈱、JR東日本本庄早稲田駅、早稲田の杜まち	
	づくり活動勉強会	
	協力:埼玉県(本庄県土整備事務所、環境科学国際セン	
	ター)、本庄市	



(4) 国際理解·国際交流促進支援

本庄市・児玉郡地域の多文化共生社会の実現に向けて、早稲田大学、埼玉工業大学、東京福祉大学、本庄市・児玉郡など関係機関と連携し、小学校の児童を対象とした国際理解・文化交流の授業を開催した。また、これらの活動を通じ、まちづくりの人材育成や地域の活性化に貢献した。当財団は事務局として、各小学校からの要望を集約し大学と調整を図り、留学生を決定。留学生と綿密な打合せをもち、授業当日、授業の進行役と通訳を務めた。授業終了後は、留学生に百体観音堂(成身院)などの名所を案内するとともに、匂い袋作りなどの体験をコーディネートした。これにより、留学生の地域への理解を深めてもらうとともに、地域住民の国際理解を深めることにも貢献した。

1) 小学生出張国際理解学習の開催

日程	参加留学生	対象	
6月9日(金)	早稲田大学3名(アメリカ、中国、香港)	本庄市立本庄南小学校	
		6年生:71名	
6月21日(水)	早稲田大学2名(マレーシア)	本庄市立仁手小学校	
		6 年生:10 名	
7月5日(水)	早稲田大学2名(中国)、埼玉工業大学	本庄市立中央小学校	
	1名(サウジアラビア)	2 年生: 102 名	
11月28日(火)	早稲田大学3名(アメリカ2、台湾1)	本庄市立本庄東小学校	
		6 年生:109 名	

11月30日(木)	早稲田大学1名(台湾)、	本庄市立藤田小学校
	埼玉工業大学1名(サウジアラビア)	6 年生:16 名
12月1日(金)	早稲田大学2名(韓国、ニュージーラン	本庄市立本庄西小学校
	ド)	6 年生:64 名
12月6日(水)	東京福祉大学1名(中国)、	本庄市立北泉小学校
	埼玉工業大学1名(サウジアラビア)	6 年生: 52 名
12月8日(金)	東京福祉大学2名(中国、モルドバ)	本庄市立児玉小学校
		5年生:74名
12月14日(木)	早稲田大学2名(アメリカ、中国)	本庄市立共和小学校
		1年生:37名、2年生:27名、
		6 年生: 25 名





4. 研究教育施設管理運営事業

IOC(インキュベーション・オン・キャンパス)本庄早稲田、早稲田 RPCC(リサーチパーク・コミュニケーションセンター)は、産学官連携による共同研究の実施、新事業の創出などのための基盤となる中核的施設である。地域住民やインキュベーション棟入居企業を含む地域企業に対して開かれた施設運営を目指し、企業セミナー等を通じた交流の促進、埼玉県内外からの視察の受け入れ等により、当施設の PR 活動を積極的に進めた。

(1) IOC本庄早稲田の管理・運営

A・B棟は早稲田大学をはじめとした他大学・研究機関と企業などとの産学官連携による研究開発 や人材育成の拠点として、V棟は新規事業や第二創業を行う企業活動の拠点施設として運営を行った。 (独)中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)と早稲田大学の基本合意に基づき、中小機構よりA・ B棟を借り受け、早稲田大学へ高度技術開発および共同研究の拠点として貸与した。

(2) 早稲田 RPCC (リサーチパーク・コミュニケーションセンター) の運営

産学官連携、地域産業の活性化等の財団の各事業を展開し、交流活動の拠点として運営した。また、 地域の人材育成や啓発活動を行う団体や企業等へ施設の貸与を行い、交流・活動拠点の場として提供 した。

施設利用実績

利用者数 331 団体 (うち有料貸出:89 団体 免除 242 団体)

5. 環境問題支援事業

(1) 環境問題支援窓口・コーディネート事業

【環境問題に関わるコンサルティング及びコーディネート】

① 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業) (神川町が受託、再委託先は㈱早稲田環境研究所)に係るアドバイザリー業務

[事業概要]

上記補助金によって神川町が策定する二酸化炭素抑制対策計画に対し、㈱早稲田環境研究所を協働し、事業計画および技術面に関する助言を行った。

1. 案件名:アドバイザリー業務

2. 委託元: ㈱早稲田環境研究所

3. 契約期間:12月1日~3月31日まで

4. 委託費収入: 324,000円(税込)

② 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (物流分野における CO2 削減対策促進事業 「船舶における低炭素機器導入」) (二光商運㈱) に係るアドバイザリー業務

[事業概要]

二光商運㈱(本社:東京)が導入する環境配慮型ディーゼルエンジンの導入に関して、上記補助金申請ならびにエンジンの仕様決定等の助言を行った。

1. 案件名:アドバイザリー業務

2. 委託元: ㈱早稲田環境研究所

3. 契約期間:12月1日~3月31日まで

4. 委託費収入:108,000円(税込)

6. 理事会、事務局等

1 評議員会

2017年度第1回評議員会:6月29日

2 理事会

2017 年度第 1 回理事会: 6 月 12 日 2017 年度第 2 回理事会: 6 月 30 日 2017 年度第 3 回理事会: 12 月 25 日 2017 年度第 4 回理事会: 3 月 26 日

3 役員、評議員の変更

- ○評議員退任
 - 6月29日付け

根本 進 立川吉朗 原田信次 岩田靖人 八代克彦

- ○評議員就任
 - 6月29日付け

佐藤宏之 渡邉 充 清水雅之 前沢幸男 小塚高史

- ○理事退任
 - 6月29日付け

岩﨑康夫 清水雅之

- ○理事就任
 - 6月29日付け

飯島 寛 原田信次

4 事務局

職員

2017年3月31	日現在	2018年3月31	日現在
出向職員	2名	出向職員	2名
駐在職員	2名	駐在職員	2名
正職員	1名	正職員	1名
契約職員	7名	契約職員	7名
派遣職員	1名	派遣職員	1名
合 計	13名	合 計	13名